

JFA 第 22 回 全日本女子フットサル選手権大会 富山県大会 実施要項

1. 名 称

JFA 第 22 回 全日本女子フットサル選手権大会 富山県大会

2. 主 催

公益社団法人 富山県サッカー協会

3. 主 管

公益社団法人 富山県サッカー協会フットサル委員会／NPO 富山県フットサル連盟

4. 後 援

未定

5. 期 日

2025 年 12 月 21 日（日）※参加チーム 2 チームの場合。参加チーム数決まり次第調整。

6. 会 場

KAWADA アリーナ福野 / 住所：富山県南砺市寺家八田島 321 番地－1 / TEL：0763-22-1115

7. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「本協会」とする。）に「フットサル 1 種」、「フットサル 2 種」、または「フットサル 3 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル 1 種」チームは、「フットサル 2 種」「フットサル 3 種」、とし、「フットサル 1 種」の選手は適用対象外となる。「フットサル 2 種」チームは、「フットサル 3 種」のみとし、「フットサル 2 種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する 2013 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。

(2) サッカーチームの場合

- ① 本協会に「2 種」、「3 種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2 種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は「3 種」年代のみとし、「2 種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する 2007 年 4 月 2 日以降 2013 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
- (3) 選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (4) 選手および役員は、県大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 各チーム、日本協会登録フットサル審判員 4 級以上を 2 名以上帯同しなければならない。（主審、第 2 審、第 3 審、TK は有資格者）

8. 参加チーム数

参加募集チーム数は、最大 8 チームとする。

9. 大会形式

(1) 参加チーム数が 4 チーム～8 チームの場合はトーナメント方式とする。

- ① 4 チームの場合は、3 位決定戦を行う。
- ② 5、6 チームの場合は、敗者でのフレンドマッチを行う。
- ③ 7、8 チームの場合は、ノックアウト方式で行う。

(2) 参加 3 チームの場合はリーグ戦方式とする。順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。

勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告 1 回 1 ポイント
 - (イ) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント
 - (ウ) 退場 1 回 3 ポイント
 - (エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント
- ⑦ 決定戦（PK 方式により勝敗を決定する）

10. **競技規則** 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

11. **競技会規定** 以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) ピッチ 大きさ：原則として、40m／20mとする。（ただし、会場によりその限りではない）
- (2) ボール 試合球：フットサル 4 号ボール（ヴァンタジオ モルテン製）
- (3) 競技者の数 競技者の数：5 名／交代要員の数：9 名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内
- (4) チーム役員の数 3 名以内

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム：

- (ア) 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - (イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - (ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (カ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (キ) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - (ク) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
 - (ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - (サ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。
- ② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
(ビブスは 2 色異なる色を用意するのが望ましい。)

(6) 試合時間

- ① 9-(1)の場合は、20 分間（前後半各 10 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 3 分間（前半終了から後半開始まで）とする。
ただし決勝戦は、24 分間（前後半各 12 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（前半終了から後半開始まで）とする。
- ② 9-(2)の場合は、24 分間（前後半各 12 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（前半終了から後半開始まで）とする。
- ③ 9-(3)の場合は、30 分間（前後半各 15 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（前半終了から後半開始まで）とする。

(7)試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

① リーグ戦方式の場合は、引き分け 9 - (2) によって決定する。

② トーナメント方式の場合は、決勝戦以外は、PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

決勝戦で決しない場合は、10 分間（前後半各 5 分間）の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

12. 帯同審判

(1) 参加チームは、審判員 2 名以上(主審、第 2 審判、第 3 審判、TK を担当する)を帯同するものとするなお、主審、第 2 審判、第 3 審判、TK は日本協会登録フットサル審判資格保持者であること。

また、主審、第 2 審判、第 3 審判、TK は黒色の審判服を着用すること。

(2) 参加チームの帯同審判員は割り当てられた試合の審判を担当する。割り当ては参加チームが決定次第、組み合わせ抽選の際に決定する。

13. 懲 罰

(1) 本大会の予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は、本協会フットサル委員会の委員長とする。

14. 参加申込

(1) 1 チームあたり 26 名（選手 20 名、役員 6 名）を上限とする。

(2) 申込みは大会登録票（メンバー表）に必要事項を入力後メール添付により、12 月 7 日（日）必着で下記アドレス宛（イ）にデータ送信すること。また代表者署名欄を自署された原本コピーを（ロ）へ、12 月 10 日（水）必着で郵送すること。また大会参加費 ¥ 10,000 円を（ハ）へ、12 月 10 日（水）までに振り込むこと。その際に「7 ジョシ チーム名」にて振り込むこと。

（イ）（公社）富山県サッカー協会 フットサル委員会 境（サカイ） t.sakai.fuji13@gmail.com

（ロ）〒939-8205 富山市新根塚町 1 丁目 1-26

フットサルショップ VIDA 下田(シモダ) 宛

（ハ）北陸銀行 電気ビル支店 普通口座 5035050

（公社）富山県サッカー協会

(3) チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。

(4) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

15. 電子選手証

各チームの登録選手は、本協会発行の電子登録証の写し（写真が登録されたもの）または選手証（写真が貼付されたもの）を、代表者会議会場および試合会場に持参すること。電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

16. 組み合わせ

参加申込締切後、本協会において抽選を行い決定する。

17. 参 加 料

10,000 円/締切日 2025 年 12 月 10 日(水)

18. 表 彰

(1) 優勝・準優勝チームを表彰する。

19. 代表者会議、マッチコーディネーションミーティング

両チームの代表者、審判員との代表者会議、マッチコーディネーションミーティングを以下の通り行う。
チーム代表者は、必ず代表者会議、マッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。

<代表者会議>

2025 年 12 月 21 日（日）福野体育館 会議室にて実施する。

<マッチコーディネーションミーティング>

第 1 試合・第 2 試合の MCM は、代表者会議終了後に併せて実施する。

以降の MCM は、以下の通り行なう。

3 位決定戦 第 2 試合終了後。

決勝戦 試合開始 60 分前行なう。

20. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

22. その他

(1) ピッチレベルでの飲料は水のみとし、指定した場所でのみ飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。
スクイズボトル若しくはペットボトルを用意すること。水筒での飲水は認めない。また、選手間での共有は行わないこと。

(2) 参加チームと選手は、本協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を順守しなければならない。詳細については、本協会ホームページを参照すること。（<http://www.jfa.jp/>）本実施要項に記載のない事項については、本協会フットサル委員会にて決定する。

(3)優勝チームは、北信越大会（2026 年 1 月 10 日～ 1 月 11 日）富山県／南砺市福野体育館に出場する権利と義務を有する。なお、全国大会(2025 年 2 月 21 日～2 月 23 日)北海道/ウインドヒルくしろスーパーアリーナ。